

## モニタリングサイト1000について

### < 調査の目的 >

- ・ 環境省は、昭和48年以来、自然環境保全調査を継続的に実施し、動植物の分布や現存植生など空間的な自然環境情報の把握を行ってきたが、これに加え、国土の自然環境の質的・量的な時間的変貌を早期に明らかにする必要があるため、平成15年から「モニタリングサイト1000」を実施している。
- ・ この「モニタリングサイト1000」は、自然環境保全施策を効果的に進めるとともに、地域の自然環境保全計画や環境影響評価の基礎資料として活用。
- ・ 地域の専門家の参画を得たデータ収集体制を構築し、自然環境の把握に係る調査を将来にわたり継続。

### < 調査方法とサイトの配置 >

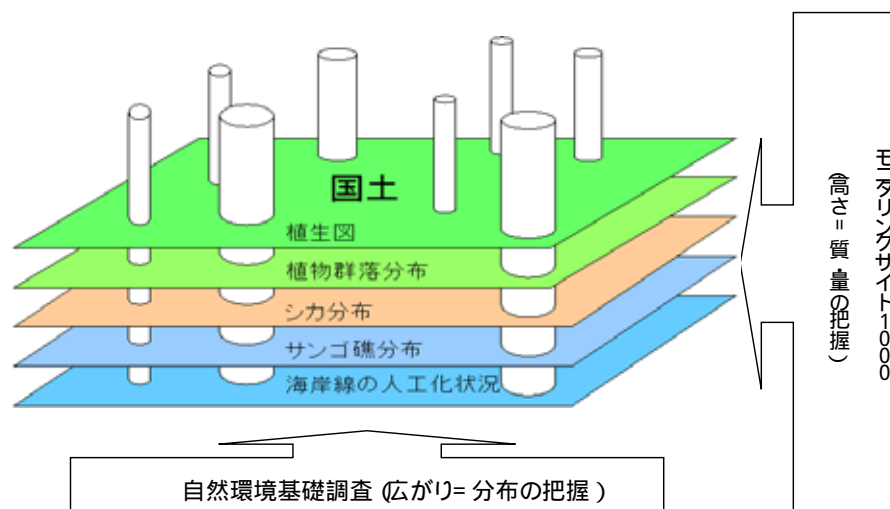
- ・ 全国1000箇所を目安に、国土生態系10区分等の国土全体の自然環境の分布状況を考慮しつつ、森林・湿地等の生態系タイプ毎に調査サイトを配置。生態系タイプ毎に適切な調査項目を設定予定。平成18年8月現在で約600サイトを設置済み。

### < 実施体制 >

- ・ 環境省（生物多様性センター）から自然環境の調査や野生生物の保全に関わっている各種団体を通じ、大学、研究機関、専門家、博物館学芸員、地域のNPO、ボランティア等の参画を得ながら各サイトにおける調査を実施。平成17年度末までに総勢約6,000名が協力。

### < 調査期間と内容の公表 >

- ・ 100年以上にわたる長期継続調査を目標とする。
- ・ 調査データは調査内容ごとに取りまとめ、ホームページを通じて公開を予定。



モニタリングサイト1000のイメージ

モニタリングサイト 1000 では、平成 19 年度末までに 1,000 か所程度を目安に全国にモニタリングサイトを設定していきます。平成 17 年度末までに約 600 か所のサイトが設定され、調査が開始されています。今後、全国的なバランスを考慮しながら、必要なサイトを追加していきます。

- 凡例
- 森林・草原
  - 山地・山
  - 河川・湖沼・湿原
  - 干潟
  - 砂浜
  - サング礁
  - 島嶼

- 各生態系での主な調査項目
- 森林・草原 …… 樹木生長調査、森林生産量調査、地表性甲虫類調査、繁殖鳥類調査
  - 山地・山 …… 生物相調査、動植物調査
  - 河川・湖沼・湿原 …… ガン・カモ類調査
  - 干潟 …… シギ・チドリ類調査
  - 砂浜 …… ウミガメ調査
  - サング礁 …… サング被度調査
  - 島嶼 …… 海鳥調査

モニタリング  
サイト  
**1000**



モニタリングサイトの分布状況（平成17年度末現在）